

このたびは WRX6500 をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本機の優れた機能をご理解頂き、未永くご愛用頂くためにも、この取扱説明書をよくお読み下さい。

<p>ご注意</p> 	電源 ON 時の起動時間	本製品は電源 ON 時、CF カードの認識等のため約 4 秒間の起動時間を必要とします。4 秒後から再生制御を行って下さい。
	カードデータの互換性	本製品 (1000CH 版) は、他の WRX6000/7000 シリーズや WAV シリーズのカードデータと互換性はありません。 音源データ(WAVE ファイル)はエディタソフトで再登録すればご利用できます。
	CF カード 「コンパクトフラッシュ」	製品添付の CF カードをご使用下さい 市販の CF カードの中には使用できない物があります。必ず、動作確認の上、ご使用願います。
	エディタソフト VoiceNavi Editor 2J	使用できる登録エディタ VoiceNavi Editor は VoiceNavi Editor 2J (1000CH 版) をご使用下さい

目次		
	エラー対策シート (トラブルシューティング)	2
1	概要	3
2	特長	3
3	主な用途	3
4	梱包内容 (付属品内容)	3
5	オプション	3
6	メモ리카ード (CF カード)	4
7	登録時間と再生時間	4
8	使用電源	5
9	音声出力と調整	5
10	自己復旧機能	6
11	各部の名称と機能・外形寸法図	7
12	端子台	7
13	LED表示灯	8
14	各種設定 モードスイッチ (再生モード・タイマー)	8
15	接続・操作	9
16	制御 - 入出力信号・タイミングチャート	10
17	制御 - シリアル制御 (1000CH・ライン出力先の設定)	10
18	カードデータの作成 CF カードへのコピー	13
	VoiceNavi Editor No.-接点端子対応表	14
19	WRX/WAVシリーズとのカードデータ互換性について	14
	標準仕様	15
	外形寸法図	16
	接続参考図	16
	設置方法	17
	据置/縦置き/EIA ラック収納/L 金具固定	

VoiceNavi

E-mail:info@voicenavi.co.jp

エラー対策シート(トラブルシューティング)

エラー対策には、パソコン、CF カード用カードアダプタとエディタソフトVoiceNavi Editor が必要です。
また予備の空きの CF カードがあればなお良い。

【電源 ON 後の起動時間】	CF カードの認識 (カード内のデータ有無など)のため、3 秒間必要です。 4 秒後に PLAY LED の点灯点滅をチェック 次にホスト側から制御して音声データ有無を確認して下さい。
----------------	--

困った状態	LED表示	原因	対処方法
まったく再生しない (電源 ON 時)	PLAY の LED が点滅	CF カードのフォーマットが違う	FAT32 や NTFS 形式のフォーマットは認識できません。 FAT 形式でフォーマットし、カードデータをコピーして下さい。
	PLAY の LED が点滅	CF カード内にカードデータファイルがない	カードデータフォルダはあるが、カードデータファイル(.wpj)がない。 フォルダ内のカードデータを確認し、フォルダ毎カードデータを再度コピーします。
	PLAY の LED が点滅	CF カード自体を認識できない	当社商品では認識できない CF カードが一部あります。 他の CF カードをお試し下さい。 同一メーカー 型番の CF カードでも認識できない場合、他の CF カードをお試し下さい。
まったく再生しない (再生制御時)	PLAY の LED が点滅	音声データがない	音声データ(WAVE ファイル)がない。 確認して、フォルダ毎カードデータを再度コピーします。
	PLAY の LED が点滅	音声データのファイル名が認識できない	ファイル名に使用できる文字は「数字」と大/小のアルファベットの半角8文字までです。 ファイル名変更後、再度 VoiceNavi Editor にてカードデータ作成を行います
		制御ミス 再生モード設定ミス	アドレスミスまたは論理ミス(正反対) 再生モードを確認し、再設定
再生しない接点・アドレスがある (再生制御時)	PLAY の LED が点滅 * (再生時)	そのアドレスに対応した音声データがない	CF カードにコピーした際、漏れが生じたので、その WAVE ファイルをコピーします。
	PLAY の LED が点滅 (再生時)	WRX シリーズに適用していない WAVE ファイル	(パソコン上でも再生できても、WRX シリーズ上では再生できない形式のデータ。 WindowsOS のアクセサリ「サウンドレコーダ」でファイル読み込みし、試聴後、再保存する。
再生しない接点・アドレスがある (接続 調整)		音量ボリューム「小」	再調整
		接続ミス	コネクタの接続を点検し(特に COM 端子部)、再接続
		制御ミス	データのないCHを再生制御している

(注) *1 再生の起動時にPLAYのLEDが点滅します。STOP入力にて消灯します。

VoiceNavi

1.概要

WRX6500 は、音源に「WAVE ファイル」、記憶媒体にFlash カード「コンパクトフラッシュ」(カード容量)1GB 採用、音声データ登録最大1000CH、1フレーム10データの組立再生、メモリバッファ20 フレーム、ライン出力系統切替できるシリアル制御、ライン出力 (600 不平衡)-4 系統切替、1W のスピーカーアンプ搭載のWAVE ファイル再生ボードです。

2.特長

AC100V 電源 (またはDC + 24V / 12V 電源)
EIA1U ハーフサイズ 210W × 164D × 44Hmm
ライン出力 600 不平衡
ライン出力-4 系統切替 (コマンド制御)
スピーカー出力 1Wmax.8
WAVE ファイル 44.1/22.05/11.025KHz 16/8Bit Mono
CF カード採用 1GB
登録時間 176 分 max.(1MB カード44.1KHz 16Bit 時)
1000 CH-シリアル制御
ウォッチドックタイマーによる自己復旧機能
外部出力 BUSY(再生中)・ALM (CPU 異常)
無償 WEB 配布-エディタソフト VoiceNavi Editor
テキスト入力音声データ作成ソフトVoiceNavi Announcer 対応
WRX7000 シリーズを録音ツールに使用できます(4/8/16CH まで)

3.主な用途

ホールコンピュータの音源部 (店内放送、店員用無線インターカム、TVセキュリティ監視他)
無線インターカムの音源部
構内 PHS システムの音源部
電車接近放送 (中大型駅)の音源部
電車車内放送の音源部

4.梱包内容 (付属品内容)

付属品と添付品をご確認ください。

名称		内容	数量
CF カード	CF カード1GB (サンプルデータ入)	サンプルカードデータ (数字1 ~ 1000) (注)動作確認後、消去してご使用下さい	1 枚
その他	取扱説明書		1 部
	保証書		1 部

5.オプション

名称	内容	
EIA 補助金具 EIA210S	EIA ラック 1 台収納用 (サイドアングル付)	
EIA 補助金具 E/2S	EIA ラック 2 台収納用 (サイドアングル付)	
L 金具 LKANAGU	固定用	
エディタソフト	CD 版 VoiceNavi Editor パック版 (カードアダプタ付)	CD 版-有償 または無償WEB 配布
<テキスト入力> 音声データ作成ソフト	CD 版 VoiceNavi Editor	CD 版-有償

VoiceNavi

6. メモリカード (CF カード)

本製品に付属した添付した CF カード (1GB) をご使用下さい。

CF カード内のサンプルデータはカードアダプタ上を使用してフォルダ毎、デリート (削除) してからご使用下さい。

CF カード	本製品に添付した CF カード 1GB (サンプルデータ入り)
--------	---------------------------------

- (注)
- ・サンプルデータはフォルダ毎、デリート (削除) して下さい。
 - ・上記 CF カードはサンプルデータをコピー・ベリファイ後、WRX6500 または WRX600B-K で工場出荷検査 (再生試験) をしています。
 - ・再生試験は 1000CH の一部のみを再生しております。ご了承願います。

電源 ON 時の起動時間 (CF カード認識時間)

CF カードの認識 (カード内のデータ有無など) のため、4 秒間必要です。

4 秒後に PLAY LED の点灯点滅をチェック。次にホスト側から制御して音声データ有無を確認して下さい。

電源 ON 時の起動時間 (CF カード認識時間)	約 4 秒間
------------------------------	--------

電源 ON 時の起動時間 (CF カード認識時間)

- ・カードフォーマットが違う
- ・CF カード内にカードデータフォルダやカードデータファイルがない
- ・当社商品と適合しない CF カード
市販の CF カードの中には本機で認識できない、正常に動作しないものもあります。
動作確認の上、ご使用下さい。

CF カードのフォーマット

適用カードフォーマット: FAT (注) FAT32 や NTFS でフォーマットしないで下さい

- (注)
- ・市販の CF カードは、通常「FAT」フォーマットです。そのまま使用できます。
 - ・デジタルカメラなどで使用した CF カードは使用できません。FAT フォーマットしてからご使用下さい。
 - ・FAT32 や NTFS などフォーマットした CF カードは、WRX/WAV シリーズでは認識できません。
 - ・フォーマットやコピーする場合、USB カードアダプタなどのアクセスランプの消灯後、約 3 秒程度経過してから脱着して下さい。アクセスランプの消灯後も、CF カード内にアクセスしている場合があります。

7. 登録時間と再生時間

登録時間

音声データ (WAVE ファイル) はエディタソフト VoiceNavi Editor (1000CH 版) で登録します。

登録できる時間は音声データ数とサンプリングモードによります。

カード容量	44.1KHz Mono		22.05KHz Mono	
	16Bit	8Bit	16Bit	8Bit
1GB	176 分	352 分	362 分	704 分
1CH 当たり平均 (1000CH 時)	約 10 秒	約 20 秒	約 20 秒	約 40 秒

- (注)
- ・音声データ数が多い場合、22.05KHz 16Bit Mono を推奨します。
 - ・<テキスト入力> 音声データ作成ソフト VoiceNavi Announcer で作成する音声データのサンプリングモードは 22.05KHz 16/8Bit Mono です。

VoiceNavi

再生時間

WRX/WAV シリーズのシリアル制御では、フレームによる組立再生、受信バッファメモリの使用が前提になってい
ます。

ホスト側からの送信データ内容により、再生時間が異なります。

【ホスト側で制御した場合】

フレーム (組立) を使用した場合	送信データの内容による 組立再生 1フレーム 10 データ (10CH分) max.
受信バッファメモリを使用した場合.	送信データの内容による 受信バッファメモリ 20 フレーム max.

(注) 受信バッファメモリを使用した場合、フレームによる再生に近い形態になる場合があります。

【エディタソフト VoiceNavi Editor 2J でプログラム登録した場合】

エディタソフト VoiceNavi Editor 上で プログラム登録していない場合	アドレス登録した WAVE ファイル時間
エディタソフト VoiceNavi Editor 上で プログラム登録してある場合	組立再生登録・リピート回数登録内容による 組立再生 1フレーム 8 データ max. リピート回数 5 回 max.

(注) フレーム (組立) を使用する場合、エディタソフトによるプログラム登録は音声データ管理上推奨しません。
フレーム (組立) と、エディタソフトによるプログラム登録の混在使用は音声データ管理上推奨しません。

8. 使用電源

商用 AC100V または DC 電源で使用できます。

使用電源	電圧範囲	消費電流		備考
		待機時	動作時	
AC 電源	商用 AC100V	約 9W	約 13W	50/60Hz SP OUT 1Wmax. 8

(注) AC 電源で使用する場合、DC 電源では使用できません。(接続しないで下さい)

使用電源	電圧範囲	消費電流		備考
		待機時	動作時	
DC 電源	DC+24V ± 5%	約 150mA	約 230mA	SP OUT 1Wmax. 8
	DC+12V ± 5%	約 200mA	約 380mA	SP OUT 1Wmax. 8

(注) DC 電源で使用する場合、AC 電源では使用できません。(接続しないで下さい)

安定かつノイズ・ハムは少ない電源をご使用下さい

9. 音声出力と調整

ライン出力

WRX6500 は全出力 1 系統とコマンド制御による出力 3 系統の計 4 系統のライン出力を有しています。

	コネクタ	規格	備考欄
LINE 出力 1	PIN Jack(RCA)	600 不平衡 0dB (03dBm ~ 8dBm)	全出力
LINE 出力 2	CN3	600 不平衡 0dB (03dBm ~ 8dBm)	RS-232C コマンド制御による出 力選択機能
LINE 出力 3	CN4	600 不平衡 0dB (03dBm ~ 8dBm)	
LINE 出力 4	CN5	600 不平衡 0dB (03dBm ~ 8dBm)	

(注) コネクタケーブルを使用する場合、シールド線を使用し、外部ノイズにご注意下さい。

【出力調整】

VoiceNavi

	調整	
LINE 出力 1	ボード上半固定 VR 1	工場出荷時約 0dBm 設定 半固定 VR で調整 ?3dBm ~ 8dBm
LINE 出力 2	ボード上半固定 VR 1	
LINE 出力 3	ボード上半固定 VR 1	
LINE 出力 4	ボード上半固定 VR 1	

【ライン出力先の設定】

音声データの再生制御の際、フレーム (組立再生) 単位でライン出力先 1 ~ 4 を設定できます。

	LINE OUT 1	LINE OUT 2	LINE OUT 3	LINE OUT 4
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

[-出力] (注) LINE OUT 1 は全出力

スピーカー出力

コネクタ	規格	備考欄
CN6	1Wmax. 8 DC+24V 時	
	1Wmax. 8 DC+12V 時	

【出力調整】

調整	備考欄
シャフト式可変ボリューム	

10 .自己復旧機能

万一、外来ノイズ等により、WRX シリーズ上の CPU が暴走した場合に、ウォッチドッグタイマーにより CPU を強制リセット、入力信号待機状態になります。

自己復旧機能が作動したことを知らせるため、アラーム出力を保持並びにアラーム LED の点灯を保持します。

電源リセットで、保持を解除します。

(注) CPU 以外の部品、回路等のハード故障等では作動しませんのでご注意ください。



自己復旧以降も電源 OFF するまで、点灯を保持します。

周囲にノイズ発生源がある場合はノイズ対策をして下さい。

自己復旧機能が作動した場合の対策】

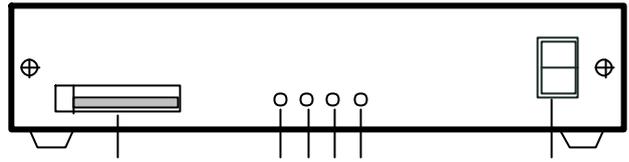
周囲にモーターなどノイズ発生源がありますのでノイズ対策を行って下さい。

・電源ライン 制御ライン 音声出力ライン

11.各部の名称と機能 外形寸法図

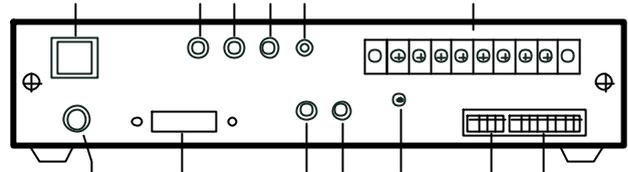
【フロントパネル】

No.	名称
1	カード挿入口
2	CARD IN LED
3	PLAY (再生中)LED
4	ALARM LED
5	POWER LED
6	POWER スイッチ



【リアパネル】

No.		名称
1	AC IN	AC100V 電源コード
2	LINE OUT 2	LINE OUT 2 用 PIN ジャック
3	LINE OUT 3	LINE OUT 3 用 PIN ジャック
4	LINE OUT 4	LINE OUT 4 用 PIN ジャック
5	SP OUT	SP OUT 用ミニプラグ
6		端子台
7	FUSE	ヒューズホルダー 0.5A
8	RS232C	RS-232C 用コネクタ
9	EX IN	LINE IN 用 PIN ジャック
10	LINE OUT	LINE OUT 用 PIN ジャック
11	SP VR	音量ボリューム
12	MODE2	モード2 スイッチ
13	MODE1	モード1 スイッチ



12.端子台

【端子台】 サトーパーツ :ML - 40S2AXF8P M3×8P



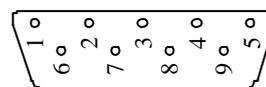
	表示	I/O	レベル (H/L)	内容
1	DC IN +	I		DC + 12/24V 電源入力
2	DC IN GND	I		DC + 12/24V 電源入力 GND
3	COM			制御信号用 GND
4	ALM	O	L	ALM (アラーム)信号出力
5	BUSY	O	L	BUSY (ビジー) 信号出力
6	OP	I	L	予備入力
7	STOP	I	L	STOP 信号入力
8	COM			制御信号用 GND

【RS232C 用コネクタ】 (D-SUB 9ピン ヒロセ :HDEB-9P)

他のピンは未使用

No.	信号名	機能
2	RXD	受信データ
3	TXD	送信データ
5	GND	信号用 GND

(注)ケーブルはクロスケーブルをご使用下さい



RS - 232C用コネクタ

13. LED表示灯

名称		内容
CARD IN LED	カードLED	CF カードがコネクタに装着されると点灯、排出されると消灯
PLAY LED	再生中 LED	再生中点灯 & エラー表示 (エラー対策シート参照)
ALM LED	アラーム LED	ボードに CPU 異常が生じた時 (制御不能) に点灯、電源再投入で消灯
POWER LED	電源 LED	電源 (DC 電圧) 投入にて点灯

【LED動作表】

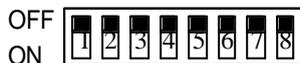
LED	点滅	点灯	消灯
POWER		電源オン	
PLAY	CF カード内にカードデータフォルダが存在しない時		電源オフ
	再生行った CH にファイルが存在しない時		・ファイルが存在する ・別なCH が起動された時 ・STOP 入力
		再生中	再生終了
CD		CF カードIN	CF カードOUT
ALM		CPU 異常が生じた時	電源オフ

(注) ALM LED は自動復旧機能で復旧した場合でも、電源 OFF リセットしない限り、点灯状態を継続します。

14. 各種設定 モードスイッチ (再生モード)

モードスイッチ

モードスイッチ1



1-4	5-8
再生モード	未使用

モードスイッチ2



1-4
未使用

再生モード

モードスイッチ1 で設定します。電源 ON 時有効になります。

1	2	3	4	5	6	7	8	再生モード
								1 RS-232C 制御 (1000CH 対応)
								2
								3
								4

・・・ ON

15. 接続 調整

本書記載の「各部の名称・機能」接続参考図」を参照し、接続して下さい。

【取扱・操作上のご注意】

Flash カード 「コンパクトフラッシュ」	カードの脱着	必ず、電源 OFF の状態で、カードを脱着して下さい。
	再生中のカードの脱着	カード内部に Flash メモリ自体が破損する場合があります。
DC 電源	+ - の極性	DC 電源には + - の極性がありますのご注意下さい。
		電圧変動が激しい電源や、ノイズ・サージを多く含む電源は使用しないで下さい。
信号の配線		信号入出力、スピーカー出力端子、ライン出力端子には電圧を印加しないで下さい。IC 等が破壊されます。
	LINE-OUT SP-OUT	信号入出力、SP、LINE の配線はできる限り短くして下さい。高圧ケーブルとの併設は避けて下さい。 できるかぎり、シールド線等をご使用下さい。

本書記載の「各部の名称・機能」接続参考図」を参照し、接続して下さい。

	No.	設定項目	内容
セッティング	1	制御ラインの接続	シリアルラインを接続します。 必要に応じて STOP、BUSY、ALMなどを接続します。
	2	音声出力ラインの接続	ライン出力の PIN ジャックと外部アンプ・通信機器の LINE IN を市販の PIN ジャックケーブル等で接続します。 必要に応じて、定格 1W スピーカーを接続します。
	3	電源ラインの接続	AC 電源と接続します。 (または DC 電源ユニットと接続します)
	4	各種設定 MODE スイッチ	MODE1 スイッチで、再生モードをセットします。 (出荷時) シリアル制御
	5	Flash カード「コンパクトフラッシュ」のセット	コンパクトフラッシュはメーカー・型式指定
	7	電源 ON	POWER-LED、CARD-LED が点灯
再生 音量調整	1	再生	上位ホスト側より、シリアル通信でデータ送出し、再生。 音声データ内容を確認します。
	2	音量調整	ライン出力は装置内ボード上の半固定ボリュームを調整。 スピーカー出力は音量調整ボリュームを調整

配線上の ご注意	共通	モーター、ソレノイド、リレーなどがある場合、必ず、シールドなどノイズ対策を行って下さい。
	LINE OUT 配線	シールド線の使用を推奨します。
	スピーカー配線	5m 以上、または周囲にノイズ源がある場合はシールド線をご使用ください。 なお、屋外配線の場合、雷等で帯電し、破損する可能性が大きくなります。 屋外配線の場合、ハイインピーダンスアンプ・スピーカ - で行って下さい。
	制御関係の配線	1m 以上、または周囲にノイズ源がある場合はシールド線をご使用ください
	電源関係の配線	モーターなどの電源ラインと一緒に配線しないで下さい。

VoiceNavi

電源の選択	低イズ 安定化電源	ノイズの少ない、安定した電源をご使用下さい
ノイズ対策		<p>本機は <FA 仕様> ではありません。 原則としてノイズ環境下ではご使用できません。 ノイズがある場合、誤動作を生じる場合があります。</p> <p>(ノイズ対策を行う場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本機を金属ケースまたはシールド板等でケーシングします。 ・スピーカー・ライン出力ライン (注)ノイズが乗り易い制御ライン・電源ライン

16.制御 - 入出力信号・タイミングチャート

ご注意	【電源 ON 時の起動時間】
	本製品は電源 ON 時、CF カードの認識等のため約 4 秒間の起動時間を必要とします。 4 秒後から再生制御を行って下さい。

入出力信号 (STOP/BUSY/ALM)

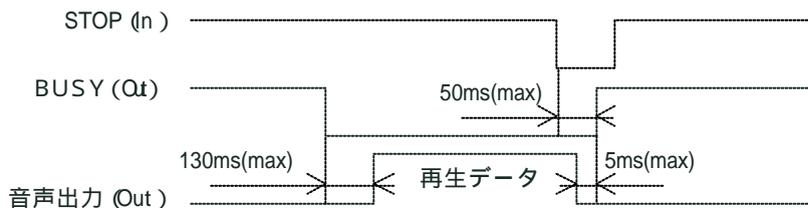
信号名	ホスト側	内容	パルス幅
/BUSY	IN	オープンコレクタ DC + 50V 500mA	
/ALM	IN	オープンコレクタ DC + 50V 500mA	
/STOP	OUT	無電圧メーク接点またはNPN オープンコレクタ	50mS 以上

タイミングチャート

【通常の再生】



【強制停止時】



17.操作 シリアル制御 (000CH・ライン出力先の設定)

シリアル制御の場合、フレーム (組立)再生機能を使用することにより、1 フレーム最大 10 データまでを組立再生できます。また、再生中受信メモリバッファ機能により、最大 20CH まで再生中でも受信できます。WRX6500 では、フレーム単位でライン出力先の設定ができます。

フレーム再生 (組立再生)	1 フレーム 10 データ max. エディタソフト上でアドレス登録した音声データ(WAVE ファイル)を最大 10 データまで組立再生できます。
再生中受信メモリバッファ	20 フレーム max. 再生中でも最大 20 フレーム分、メモリ受信できます。 再生順番は FIFO 形式とし古いデータより再生 受信バッファがフル(満杯)で以降のデータは無効となり、バッファに 5 個の空きが生じると受信可能とします。

VoiceNavi

	外部 STOP 信号入力もしくは FFh 入力にて再生を即停止し、受信メモリバッファを全てクリアにします。
ライン出力先 1-4 の設定	フレームデータにライン出力設定データを付加することにより、ライン出力 1 - 4 を設定できます。

通信条件

通信方式	非同同期式 全2重
通信速度	19200bps
データ長	8 ビット
パリティ	Non
ストップ	1ビット
コード体系	ASKII

通信制御コマンド

コマンド	コード	定義
STX	02h	フレームデータの開始
ETX	03h	フレームデータの終了
ACK	06h	送信側に対する肯定的応答
NAK	15h	送信側に対する否定的応答
ENQ	05h	受信側に対する応答要求

その他の制御コマンド

コマンド	コード	定義
	FFh	強制停止
#	23h	ラインアウト切り替え制御

強制停止については外部 S T O P 信号入力にて可

データ送信フォーマット



ラインアウトの切り替え制御は「#」+ラインアウト番号（3コード）で表します

ラインアウト番号 (3 コード) とラインアウトの出力先の関係

ラインアウト番号	ラインアウト出力先 (コネクタNo)			
	1 (CN2)	2 (CN3)	3 (CN4)	4 (CN5)
30h30h31h	オン			
30h30h32h	オン	オン		
30h30h33h	オン		オン	
30h30h34h	オン	オン	オン	
30h30h35h	オン			オン
30h30h36h	オン	オン		オン
30h30h37h	オン		オン	オン
30h30h38h	オン	オン	オン	オン

例) ラインアウト 1, 2 を選択する場合

+ ラインアウト番号 - > 23h30h30h32h

注 1 . ラインアウト切り替え制御のコマンドが「#」(23h)以外の場合は、ラインアウト出力先は 1 になります

注 2 . ラインアウト番号が上記以外の場合は、ラインアウト出力先は 1 になります

VoiceNavi

フレームデータ内のCHは1CHにつき4コードで表します

例) 1CHと125CHの表示

1 (10進表示) -> 0001 (10進表示) -> 30h30h30h31h (コード表示)

125 (10進表示) -> 0125 (10進表示) -> 30h31h32h35h (コード表示)

BCCの範囲は#からETXまでとします

例) ラインアウト1,2を選択し、1CHと15CHと125CHを再生する場合

STX	#	ラインアウト番号	フレームデータ (最大10CH分)	ETX	BCC
02h	23h	30h30h32h	30h30h30h31h30h30h31h35h30h31h32h35h	03h	

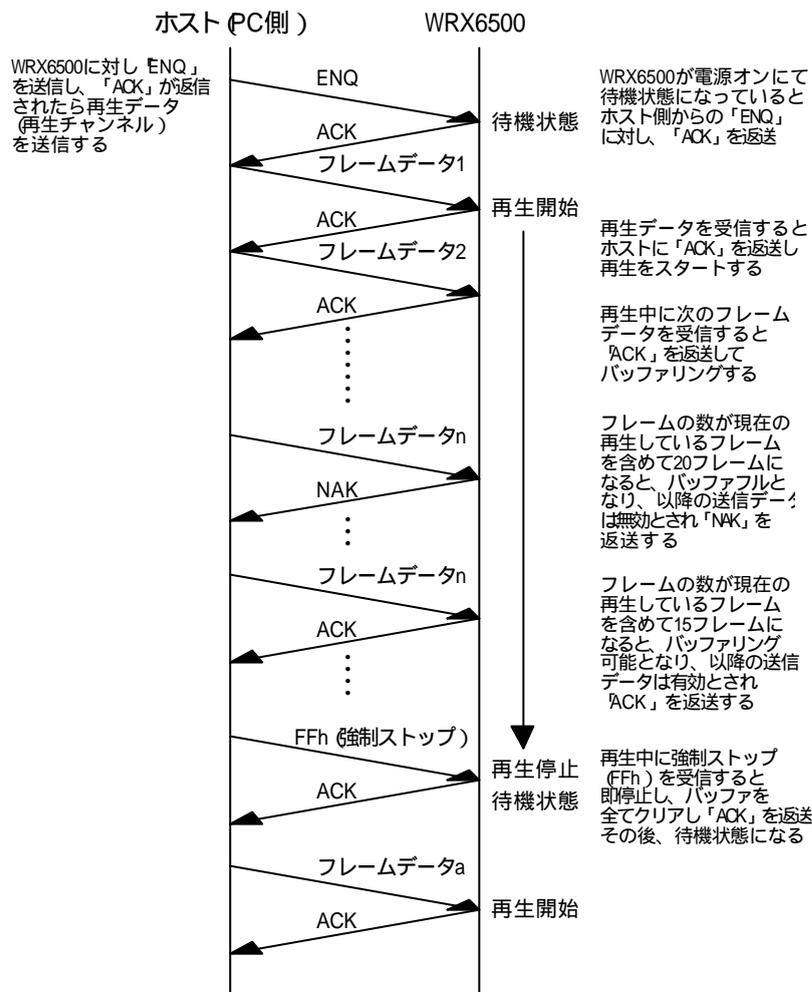


	コード	バイナリ
#	23h	00100011
ラインアウト1,2	30h	00110000
	30h	00110000
	32h	00110010
	30h	00110000
1CH	30h	00110000
	30h	00110000
	30h	00110000
	31h	00110001
15CH	30h	00110000
	30h	00110000
	31h	00110001
	35h	00110101
125CH	30h	00110000
	31h	00110001
	32h	00110010
	35h	00110101
ETX	03h	00000011
BCC	11h	00010001

BCCの算出は、バイナリに於いて各ビットのEXORをとる

VoiceNavi

送信手順



注1. ホスト側の「ENQ」送信に対し、WRX6500が待機状態(受信可能状態)であると「ACK」を返送します。

注2. 「NAK」が返送されるのは、バッファフルの時と受信データにエラーが発生した時です。

18. カードデータの作成・CFカードへのコピー

- (注) 1. WRX6500 はエディタソフトVoiceNavi Editor 1J で作成したカードデータは使用できません。
エディタソフトVoiceNavi Editor 2J(1000CH 版)を使用してカードデータ作成を行って下さい。
2. 作成したカードデータはフォルダ毎 CF カードにコピーして下さい
- (注)他の WRX6000/6300 の場合、フォルダ内のカードデータファイルと音声データファイルをコピー。

エディタソフト VoiceNaviEditor2J (1000CH 版)	WRX6500 のカードデータ作成ソフトです。 なお、従来の WAV/WRX6000/7000 シリーズのカードデータも作成できます。 試聴 WAVE ファイルの登録 1000CHmax./255CHmax. アドレス(接点端子)登録 1000CHmax. ./255CHmax. 作成情報をプリントアウトできます。 適用 OS WindowsXP/2000 なお使用に際しては、CF カード用カードアダプタが必要です。
---	---

エディタソフトVoiceNavi Editor を使用してカードデータ作成を行って下さい。
カードデータの作成・カードへのコピー方法はエディタソフトVoiceNavi Editor のユーザーマニュアルをお読み下さい。
WAV/WRXシリーズはエディタソフトVoiceNavi Editor (ボイスナビエディタ)上で音源データ(WAVE ファイル)を試聴しながらアドレス登録、組立再生などのプログラム登録、カードデータファイル作成などができます。

VoiceNavi

VoiceNavi Editor 登録エディタソフト



録音または既存の音源データ (WAVE ファイル) を登録して、WAV/WRX シリーズ用のカードデータを作成できます。その際、組立再生・リピート回数などのプログラムができます。
(注) 2J(1000CH 版)をご使用下さい

VoiceNavi Announcer <テキスト入力>音声データ作成ソフト

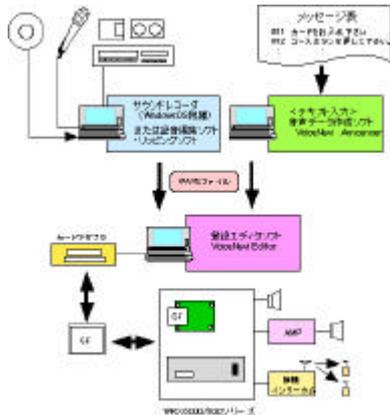


(Excel アドオンソフト)
Excel 上のセル内に入力したテキストデータを試聴してから、WAVE ファイルに出力・保存できます。登録エディタソフトVoiceNavi Editor も収録されています。

【音源データの録音 作成並びにカードデータの作成】

WAV6000シリーズは、自社録音または既存の音源データ (WAVE ファイル) を登録エディタソフトVoiceNavi Editor (ボイスナビエディタ) を使用してカードデータを作成する方法とWRX7000 シリーズを録音ツールとして使用する方法があります。

【登録エディタソフトVoiceNavi Editor を使用する場合】



録音 WAVE ファイル作成
MD・DAT、マイクの場合
Windows パソコン上で録音・ファイル保存
オーディオ CD の場合
市販の録音編集ソフトまたはリッピングソフトで WAVE ファイルにリッピングし、保存します。
テキスト入力の場合
市販のテキスト音声変換ソフトまたは<テキスト入力>音声データ作成ソフトで WAVE ファイル保存。
WRX6000 シリーズ用カードデータの作成
登録エディタソフト VoiceNavi Editor で試聴しながら WAVE ファイル登録、アドレス・プログラム登録し、カードデータ作成します。
CF カードへコピー
作成したカードデータをカードアダプタ経由でコピーします。

VoiceNavi Editor No.- アドレス対応表

VoiceNavi Editor タブ No.	VoiceNavi Editor No.	クライアント側、 シリアル制御
タブ1	1	1
	2	2
	:	:
	255	255
タブ2	256	256
	257	257
	:	:
	500	500
タブ3	501	501
	502	502
	:	:
	755	755
タブ4	756	756
	757	757
	:	:
	1000	1000

19. カードデータ互換性について

WRX6500 は他の WRX シリーズやWAV シリーズとカードデータの互換性はありません。
なお、他音声データ(WAVE ファイル)はエディタソフトでアドレス登録することにより、再利用できます。

	カードデータ互換性	音声データの再利用
WRX7200II/7700II/7800II/700BII	×	エディタソフトでアドレス登録することにより、再利用できます
WRX6000/6300/600B/600B-BR		
WAV3000/-B/-R/300B/300B-B		

標準仕様

VoiceNavi

定格使用電圧	AC100V 50/60Hz AC 電源コード または DC+24V±5% (または DC+12±5%) M3 端子台																																													
消費電流	AC100V時 待機時 約9W 最大時 約13W DC+24V時 待機時 約150mA 最大時 約230mA DC+12V時 待機時 約200mA 最大時 約380mA																																													
寸法・重量	210W X 164D X 44H mm 突起部含まず 約2kg EIA 1U ハーフサイズ																																													
塗装 仕上	グレー 焼付塗装																																													
使用環境	使用時 :5 ~ 55 35%~80%RH 保存時 :?10 ~ 70 (但し結露なき事)																																													
再生方式	WAVE ファイル 44.1/22.05/11.025KHz 16/8Bit mono PCM																																													
再生帯域	300 ~ 10KHz																																													
音声出力	LINE 出力 LINE OUT 1 600 不平衡 0dBm(?3dBm ~ 8dBm) ピンジャックCN2(RCA ピンジャック) LINE OUT 2-4 600 不平衡 0dBm(?3dBm ~ 8dBm) コネクタ CN3-5 SP 出力 1Wmax(.8) コネクタ :CN6																																													
音量調整	LINE 出力 ボード上半固定 VR LINE OUT 1 VR2 ?3dBm ~ 8dBm LINE OUT 2-4 VR4 ~ VR6 ?3dBm ~ 8dBm SP 出力 ボード上可変 VR3 または外部 VR コネクタ :CN7																																													
適用カード	Flash カード「コンパクトフラッシュ」 1GB 1 枚 max.																																													
登録 CH 数	シリアル制御 1000CHmax																																													
	カード容量とサンプリングによる <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">カード容量</th> <th colspan="2">44.1KHz</th> <th colspan="2">22.05KHz</th> </tr> <tr> <th>16Bit</th> <th>8Bit</th> <th>16Bit</th> <th>8Bit</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1GB</td> <td>179.2 分</td> <td>358.4 分</td> <td>358.4 分</td> <td>716.8 分</td> </tr> </tbody> </table>	カード容量	44.1KHz		22.05KHz		16Bit	8Bit	16Bit	8Bit	1GB	179.2 分	358.4 分	358.4 分	716.8 分																															
カード容量	44.1KHz		22.05KHz																																											
	16Bit	8Bit	16Bit	8Bit																																										
1GB	179.2 分	358.4 分	358.4 分	716.8 分																																										
再生時間	登録時間またはプログラム 登録した場合はその内容																																													
制 御	RS-232C 制御 :1000Chmax 組立再生 1フレーム 10 データ (10CH分) max. バッファメモリ 20 フレーム max. ライン出力設定 4 系統 LINE OUT1 ~ 4 (フレーム単位で出力系統を設定) <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>LINE OUT 1</th> <th>LINE OUT 2</th> <th>LINE OUT 3</th> <th>LINE OUT 4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> [-出力] 非同期式 全二重 19200bps 8Bit 再生停止 FFh 送信または SSTOP 信号入力 IN :/STOP (強制停止) 無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ OUT :オープンコレクタ出力 (DC+50V 500mA) /BUSY ビジー出力 再生中出力 /ALM アラーム出力 CPU 異常時出力 保持 (電源 OFF で解除)		LINE OUT 1	LINE OUT 2	LINE OUT 3	LINE OUT 4	1					2					3					4					5					6					7					8				
	LINE OUT 1	LINE OUT 2	LINE OUT 3	LINE OUT 4																																										
1																																														
2																																														
3																																														
4																																														
5																																														
6																																														
7																																														
8																																														
その他の機能	自己復旧機能 ノイズ等でCPU 暴走時、ウォッチドックタイマーによるリセットして初期待機状態になります 同時にアラーム出力 (ALM) を出力 保持します。(電源 OFF で解除)																																													
付属品	サンプルデータ入 CF カード 1GB (動作確認後、消去してご使用下さい)																																													
オプション	Flash カード「コンパクトフラッシュ」 32/64/128/256MB (メーカー・型式指定有) 登録エディタソフト ソフト単体 VoiceNavi Editor 2J CD-ROM 版 バック版 VoiceNavi Editor 2J (USB カードアダプタ付)																																													

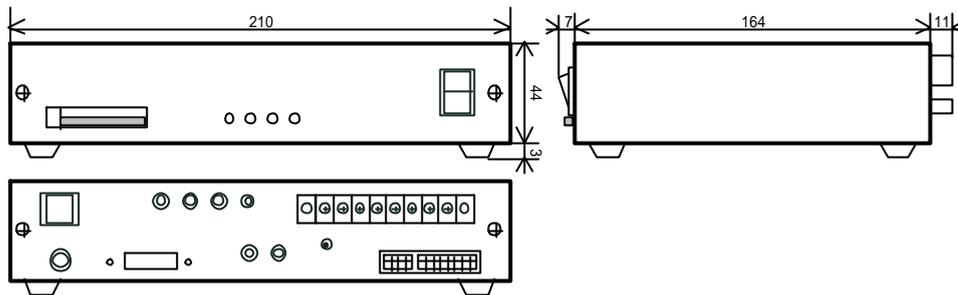
VoiceNavi

<テキスト入力>アナウンサーソフト

ソフト単体 VoiceNavi Announcer CD-ROM 版

パック版 VoiceNavi Announcer (USB カードアダプタ付)

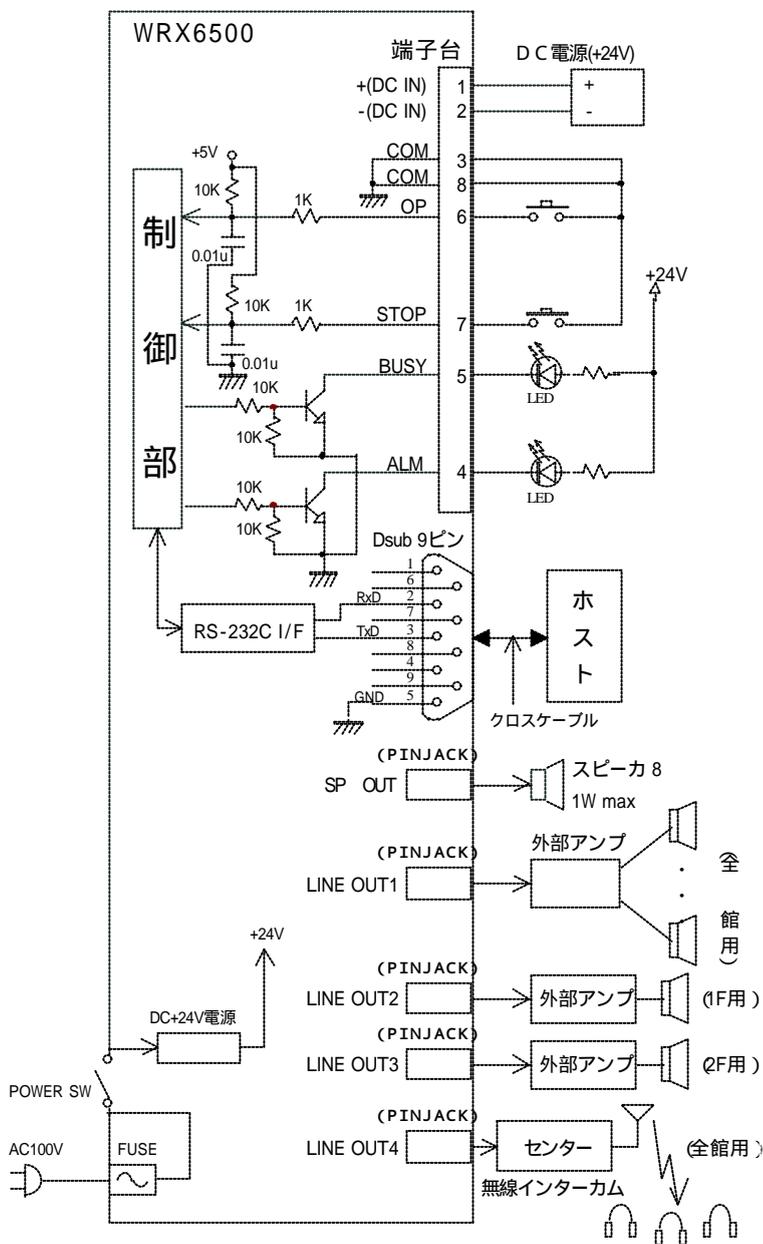
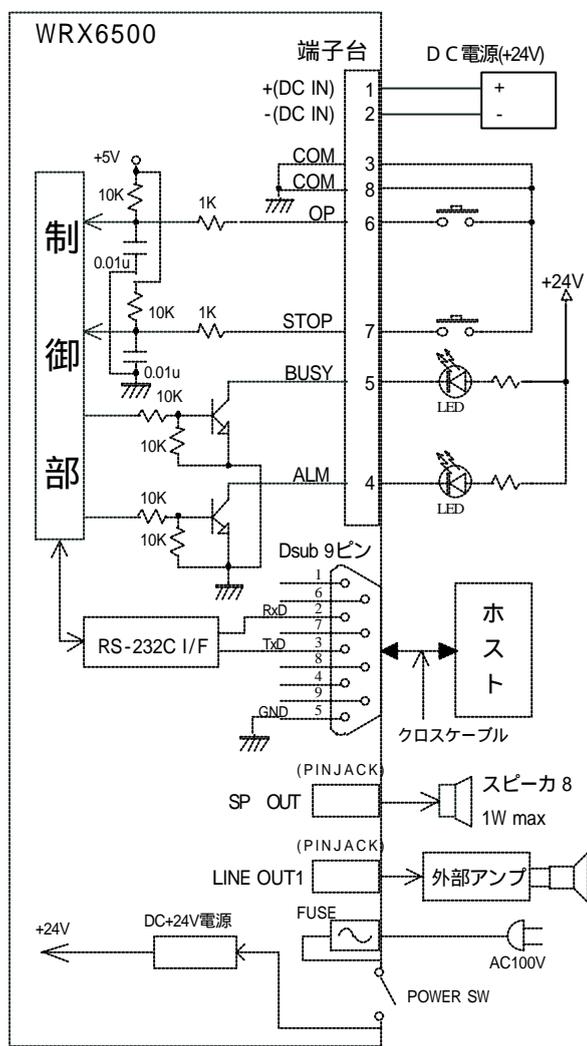
外形寸法図】



接続参考図

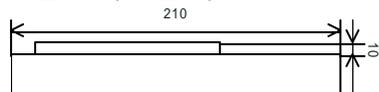
(注)耐ノイズ・耐振動対策した<FA 仕様>ではありません。

ライン出力接続参考



設置方法

設置図 (据え置き)

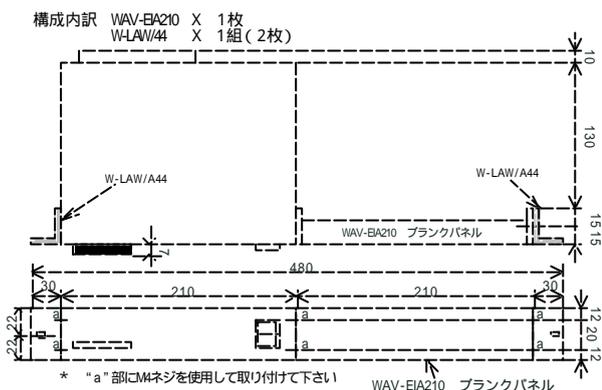


設置図 (縦置き時)

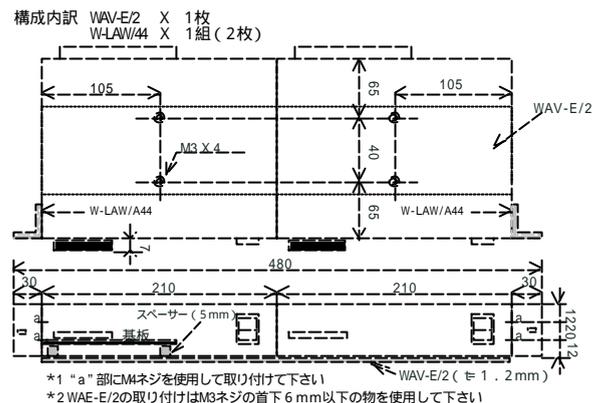
*1 本体側面のL金具用止め穴を使用してネジ止めします
*2 振動・衝撃の多い場所では、この設置は採用しないで下さい



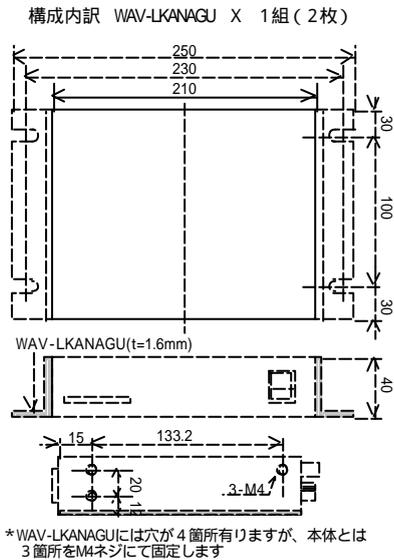
設置図 (EIAラックに1台収納時)



設置図 (EIAラックに2台収納時)



設置図 (L金具:WAV-LKANAGU使用時)



(注) Windows は Microsoft 社の商品名・商標登録です。

その他の商品・社名は各社の商標または登録商標です。本書記載の仕様・概観は改良等により、予告なく変更になることがあります。

VoiceNavi 三共電子株式会社

〒381-3203 長野県上水内郡中条村中条 38 TEL 026-268-3950 FAX 026-268-3105

URL <http://www.voicenavi.co.jp/> E-mail: info@voicenavi.co.jp